

官報號外 昭和十八年六月十九日

○第八十二回 貴族院議事速記録第二號

昭和十八年六月十八日(金曜日)午前十時四分開議

議事日程 第三號
昭和十八年六月十八日

午前十時開議

第一 朝鮮食糧管理特別會計法案
(政府提出、衆議院送付) 第一讀會

第一 朝鮮ニ於ケル米穀ノ生産ヲ確保
スル爲ノ補給金及企業ノ整備ニ要スル
經費ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ
關スル法律案(政府提出、衆議院送付)

第一 朝鮮食糧管理特別會計法案
(政府提出、衆議院送付) 第一讀會

(寺光書記官朗讀)

昨十七日本院ニ於テ可決シタル左ノ政府提
出案ハ即日裁可ヲ奏請シ又可決ノ旨ヲ衆議
セマス

出、衆議院送付、第一讀會、是等ノ三案ヲ
一括シテ議題ト爲スコトニ御異議ゴザイマ
ト認メマス、賀屋大藏大臣

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ」

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 御異議ナイ
トシテ、
〔左ノ案ハ朗讀ヲ經サルモ参照ノ
タメ茲ニ載録ス以下之ニ倣フ〕

有政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議
院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和十八年六月十七日
衆議院議長 岡田 忠彦

貴族院議長伯爵松平頼壽殿

朝鮮食糧管理特別會計法案

第一條 朝鮮總督府ニ於テ食糧ヲ管理ス
ル爲特別會計ヲ設置シ其ノ歲入ヲ以テ
其ノ歲出ニ充ツ

第二條 本會計ニ屬スル經費ヲ支辨スル
爲必要アルトキハ政府ハ本會計ノ負擔

第三條 食糧ノ買入代價ハ内地、臺灣又
ハ外國ヨリ直接ニ買入ル場合ヲ除ク
ノ外一年内ニ償還スベキ證券ヲ以テ其
ノ額面金額ニ依リ之ヲ交付ス

前項ノ證券ハ無記名證券トス

第一項ノ規定ニ依リ交付スル爲政府ハ
證券ヲ發行スルコトヲ得

裕アルトキハ之ヲ大藏省預金部ニ預入
ルベシ

第十一條 本會計ニ於テ支拂上現金ニ餘
裕アルトキハ之ヲ翌年度ニ繰入

第十二條 本會計ニ於テ決算上剩餘ヲ生
じタルトキハ之ヲ翌年度ノ歲入ニ繰入
ルベシ

本會計ノ毎年度歲出豫算ニ於ケル支出
残額ハ遞次之ヲ翌年度ニ繰越シ使用ス
ルコトヲ得

第十三條 政府ハ毎年本會計ノ歲入歲出
額ハ之ヲ翌年度ニ繰越シ使用スルコトヲ
得

トヲ得其ノ借換ニ付亦同ジ
第六條 本會計ノ負擔ニ屬スル證券及借
入金ノ額ハ通ジテ最高十億圓トス
償還ニ關スル諸費ノ支出ニ必要ナル金
額ハ之ヲ毎年度國債整理基金特別會計
ニ繰入ルベシ

第七條 本會計ノ負擔ニ屬スル證券及借
入金ノ償還金及利子並ニ證券ノ發行及
換貨付交付加工製造貯藏検査及運搬ニ
關スル諸費、朝鮮總督府特別會計ヘノ繰
入金、證券及借入金ノ償還金及利子其
ノ他ノ諸費ヲ以テ其ノ歲出トス

第九條 前條ノ朝鮮總督府特別會計ヘノ
繰入金ノ額ハ本會計ニ於テ移出又ハ輸
出ヲ目的トシテ賣渡シタル米穀ニ付朝
鮮總督府特別會計ヨリ支出シタル生産
ヲ確保スル爲ノ補給金ニ相當スル金額
ヲ限度トス

第十條 食糧ノ買入數量ノ增加其ノ他避
クベカラザル事由ニ因リ生ジタル豫算
ノ不足ヲ補フ爲歲出豫算ニ豫備費ヲ設
クルコトヲ得

第十一條 本會計ニ於テ支拂上現金ニ餘
裕アルトキハ之ヲ翌年度ニ繰入

第十二條 本會計ニ於テ決算上剩餘ヲ生
じタルトキハ之ヲ翌年度ノ歲入ニ繰入
ルベシ

本會計ノ毎年度歲出豫算ニ於ケル支出
残額ハ遞次之ヲ翌年度ニ繰越シ使用ス
ルコトヲ得

豫算ヲ調製シ歳入歳出ノ總豫算ト共ニ
之ヲ帝國議會ニ提出スペシ

第十四條 本會計ノ收入支出ニ關スル規程ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

附則

其日の東京支店にて之を定め
昭和十八年度ニ於テ本會計ニ屬スル經費
支拂上現金ニ不足アルトキハ本會計ノ
貢擔ニ於テ一時借入金ヲ爲スコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル一時借入金ハ當該年度
内ニ之ヲ返還スペシ

國債整理基金特別會計法中左ノ通改正ス
第二條第四項中「食糧監察」下ニ「朝鮮

「食糧證券」ヲ加フ

農糧管理特別會計法中左ノ通改正ス
第三條第一項中「買入代價ハ一ノ下ニ「朝

「」ヲ加フ

ノ受入金、ヲ加フ

第六條ノ二ヲ第六條ノ三トス

金ノ額ハ本會計ニ於テ朝鮮又ハ臺灣ヨ

會計又八臺灣總督府特別會計二於支
票移入沙外九米穀二付朝鮮總督府特別

出シタル生産ヲ確保スル爲ノ補給金ニ
相當スル金額ヲ限度トス

朝鮮ニ於ケル米穀ノ生産ヲ確保スル爲

ノ補給金及企業ノ整備ニ要スル經費ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律

案

昭和十八年六月十七日
就法第五十四條ニ依リ及送付候也

貴族院議長伯爵松平賴壽殿
衆議院議長岡田忠彦

致シマシテ、朝鮮ニ於テモ企業ノ整備ヲ行
フノ要ガアリマス、之ガ經費ノ支出ヲ要ス
ルノデアリマスルガ、其ノ財源ニ付キマシ
テハ、朝鮮總督府特別會計ニ於ケル財政ノ
現情ニ顧ミマシテ、一部ヲ公債ニ依ルノ必
要ガアリマス、仍テ總額一億三百三十萬圓
ヲ限り、起債ノ權能ヲ得ルノ必要ガアルノ
デアリマス、尙本法律案ノ附則ニ於キマシ
テ、朝鮮事業公債法ヲ改正致シテ居リマス
ルガ、右ハ今回朝鮮食糧營團等、朝鮮ニ於テ
事業ヲ營ムコトヲ目的ト致シテ特別ノ法令
ニ依ツテ設立セラレマスル所ノ法人ニ對シ
マシテ、公債ノ交付ニ依ツテ出資ヲ爲スコト
ト致シ、之ガ爲同法ニ規定スル公債ノ發行
限度法定額ヲ千九百四十萬圓ダケ、其ノ限
度ヲ增加セムトスルモノデアリマス、以上
ノ理由ニ依リ本法律案ヲ提出致シマシタ次
第デアリマス、次ニ臺灣ニ於ケル米穀ノ生
產ヲ確保スル爲ノ補給金ノ財源ニ充ツル爲
公債發行ニ關スル法律案ニ付説明申上げマ
ス、臺灣ニ於キマシテモ内地ノ施策ニ即應
シ、米穀ノ生產ヲ確保シマスル爲、之ニ必
要ナル補給金ヲ交付セムトスルモノデアリ
マスルガ、之ガ經費ノ財源ノ一部ニ付キマ
シテハ、臺灣總督府特別會計ニ於ケル財政
ノ現情ニ顧ミマシテ、公債ニ依ルノ必要方
アリマスルノデ、總額二千三百五十萬圓ヲ
限り、起債ノ權能ヲ得ルノ必要ガアルノデ
アリマス、尙臺灣ヨリ輸出又ハ輸出スル米
穀ニ付キマシテハ、臺灣總督府特別會計ニ
於テ支出致シマスル補給金ヲ加ヘタル價格
ヲ以テ賣渡スコトト相成ツテ居リマス、仍テ
右補給金相當額ハ、之ヲ收入致シマスル臺
灣米穀移出管理特別會計カラ臺灣總督府自
體ノ會計ニ繰入ル、コトガ必要デアリマス

ルノデ、昭和十六年法律第九十四號臺灣米穀移出管理特別會計法ノ特例ニ關スル法律

第二條中、所要ノ改正ヲ、本法律案ノ附則ニ於テ行ハムト致シテ居ルモノデアリマス、

以上ノ理由ニ依リ本法律案ヲ提出致シマシタ次第デアリマス、以上三件ノ法律案ニ付キマシテ、何卒御審議ノ上速カニ協賛ヲ與ヘラレムコトヲ希望致シマス

○子爵戸澤正己君 只今議題トナリマシタ朝鮮食糧管理特別會計法案外二件ノ特別委員ヲ十九名トシ、其ノ委員ノ指名ヲ議長ニ一任スルノ動議ヲ提出致シマス

○子爵秋田重季君 賛成

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 戸澤子爵ノ動議ニ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 御異議ナイト認メマス、特別委員ノ氏名ヲ朗讀致サセマス

〔小野寺書記官朗讀〕

朝鮮食糧管理特別會計法案外二件特別委員

公爵一條 實孝君 侯爵池田 宣政君

伯爵兒玉 秀雄君 關屋貞三郎君

子爵八條 隆正君 子爵西尾 忠方君

子爵裏松 友光君 下條 康麿君

大野綠一郎君 内田 重成君

田口 強一君 男爵三須 精一君

男爵稻田 昌植君 男爵坊城 俊賢君

赤池 濃君 結城 安次君

米原 章三君 山上 岩二君

柴田兵一郎君

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 日程第四、

企業整備資金措置法案 提出、衆議院

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和十八年六月十七日 衆議院議長 岡田 忠彦

貴族院議長伯爵松平賴壽殿

企業整備資金措置法案

企業整備資金措置法

第一條 本法ハ大東亞戰爭ニ際シ企業整備ニ關シ之ガ促進ヲ圖リ浮動購買力ノ發生ヲ防止シ國家經濟ノ秩序ヲ維持スルヲ以テ目的トス

第二條 政府ハ前條ノ目的達成ノ爲必要アリト認ムルトキハ廢止又ハ休止シタル事業ニ屬スル設備、權利其ノ他ノ資産ノ保有ヲ爲シ又ハ保有若ハ處分ノ目的ヲ以テスル買取ヲ爲ス者ニ對シ其ノ保有若ハ買取ニ因リ蒙リタル損失ヲ補償シ又ハ補助金ヲ交付スルノ契約ヲ爲スコトヲ得

第三條 前項ノ損失ヲ決定スル基準ハ主務大臣

大藏大臣ニ協議シテ之ヲ定ム

第一項ノ補償金及補助金ノ額ニ付テハ豫メ帝國議會ノ協賛ヲ求ムベシ

第五條 前條ノ金錢債務ノ決済方法ハ左ノ五種トス

一 特殊預金ト爲スコト

二 特殊金錢信託ト爲スコト

三 債務者特殊借入金ト爲スコト

四 戰時金融金庫特殊借入金ト爲スコト

第五條 政府ハ第一條ノ目的達成ノ爲必

要アリト認ムルトキハ命令ノ定ムル所

ニ依リ補償金又ハ土地、建物、船舶、設備若ハ權利ノ買收代金ノ債務ニ付其ノ全部又ハ一部ノ支拂ニ代へ之ヲ債主ヨリノ政府特殊借入金ト爲シ又ハ債主ニ對シ當該買收代金ノ全部若ハ一部ヲ第六條若ハ第七條ノ規定ニ準ジ債主ノ特殊預金若ハ債主ヲ信託者及受益者トスル特殊金錢信託ト爲スベキコトヲ命

ブルコトヲ得

第四條 左ノ各號ノ場合ニ於ケル金錢債務ノ決済ハ命令ノ定ムル所ニ依リ第五

條ニ規定スル決済方法ニシテ債權者又ハ債務者ガ命令ノ定ムル所ニ依リ選擇シタルモノニ依リ之ヲ爲スコトヲ要ス

一 事業ノ全部又ハ一部ノ讓渡アリタルトキ

又ハ一部ノ讓渡又ハ收用アリタルトキ

二 事業ニ屬スル設備又ハ權利ノ全部

ルヲ以テ目的トス

三 株式又ハ出資ノ持分ノ讓渡アリタルトキ

四 其ノ他命令ヲ以テ定ムルトキ

前項ノ規定ハ國民更生金庫ガ國民更生金庫法第十七條ノ規定ニ依リ資金ノ融通ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス此ノ場合ニ於テハ國民更生金庫ヲ債務者、資金ノ融通ヲ受クル者ヲ債權者ト看做ス

第五條 前條ノ金錢債務ノ決済方法ハ左ノ五種トス

一 特殊預金ト爲スコト

二 特殊金錢信託ト爲スコト

三 債務者特殊借入金ト爲スコト

四 戰時金融金庫特殊借入金ト爲スコト

第五條 政府特殊借入金ト爲スコト

第六條 特殊預金ノ方法ニ依ル決

務者ガ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ支拂

ノ支拂フベキ金額ノ全部又ハ一部ヲ政

府ニ納付シ債權者ヨリノ政府ノ借入金

ト爲スコトニ依リテ之ヲ爲ス

第六條第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七條 特殊金錢信託ト爲スコト

必要アリト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ當該金融機關ニ對シ債權者ニ

當該特殊預金ヲ爲スニ必要ナル資金ノ融通ヲ爲スベキコトヲ得

第五條 債務者ガ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ支拂フベキ金額ノ全部又ハ一部ヲ政府ノ指定スル金融機關ヘノ債權者ノ預金ト爲スコトニ依リテ之ヲ爲ス

第六條 債務者特殊借入金ノ方法ニ依ル決

務者ガ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ支拂

ノ支拂フベキ金額ノ全部又ハ一部ヲ政

府ニ納付シ債權者ヨリノ政府ノ借入金

ト爲スコトニ依リテ之ヲ爲ス

第七條 債務者特殊借入金ノ方法ニ依ル決

務者ガ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ支拂

ノ支拂フベキ金額ノ全部又ハ一部ヲ政

府ニ納付シ債權者ヨリノ政府ノ借入金

ト爲スコトニ依リテ之ヲ爲ス

第八條 債務者特殊借入金ノ方法ニ依ル

決済ハ債務者ガ命令ノ定ムル所ニ依リ

其ノ支拂フベキ金額ノ全部又ハ一部ヲ

債權者ヨリノ債務者ノ借入金ト爲スコトニ依リテ之ヲ爲ス

第九條 戰時金融金庫特殊借入金ノ方法ニ依ル決済ハ債務者ガ命令ノ定ムル所ニ依リ

其ノ支拂フベキ金額ノ全部又ハ一部ヲ

リノ戰時金融金庫ニ納付シ債權者ヨ

ノ戰時金融金庫ノ借入金ト爲スコトニ依リテ之ヲ爲ス

第十條 政府特殊借入金ノ方法ニ依ル決

務者ガ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ支拂

ノ支拂フベキ金額ノ全部又ハ一部ヲ政

府ニ納付シ債權者ヨリノ政府ノ借入金

ト爲スコトニ依リテ之ヲ爲ス

前項ノ場合ニ於テ當該金融機關ハ命令ノ定ムル所ニ依リ特殊預金ノ取扱ヲ爲スコトニ依リテ之ヲ爲ス

前項ノ場合ニ於テ當該金融機關ハ命令

ルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ債務者

ノ納付スベキ金額ノ全部又ハ一部ヲ納付セシメズシテ之ヲ債務者ニ對スル政

府特殊債權ト爲スコトヲ得

第十一條 政府特殊借入金、特殊預金、特殊金錢信託、債務者特殊借入金、戰時金融金庫特殊借入金、債務者特殊借入金、戰時金融金庫特殊借入金、債權ハ之ヲ讓渡ノ規定ニ依リ融通スル資金ノ利率、期間其ノ他ノ條件ハ大藏大臣之ヲ定ム

第十二條 特殊預金又ハ特殊金錢信託ノ期限前ノ拂戻又ハ解除及債務者特殊借入金又ハ戰時金融金庫特殊借入金ノ期限前ノ償還ニ付テハ命令ノ定ムル所ニ依リ政府ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス

政府ハ命令ノ定ムル所ニ依リ政府特殊借入金ノ全部又ハ一部ニ付期限前ノ償還ヲ爲スコトヲ得

第十三條 政府ハ特殊預金又ハ特殊金錢信託ノ取扱ヲ爲ス金融機關ニ對シ補助規定ニ依リ資金ノ融通ヲ爲シタルニ因リ蒙リタル損失ヲ補償スルノ契約ヲ爲スコトヲ得

前項ノ損失ヲ決定スル基準ハ大藏大臣之ヲ定ム

第一項ノ補助金及補償金ノ額ニ付テハ豫メ帝國議會ノ協賛ヲ求ムベシ

政府ハ債務者特殊借入金又ハ戰時金融ノ契約ヲ爲スコトヲ得

第十條第一項ノ政府特殊借入金及前項ノ規定ニ依リ保證スベキ元本ノ額ニ付テハ之ヲ通ジ豫メ帝國議會ノ協賛ヲ求ムベシ

特殊借入金、特殊預金、特殊金錢信託、債務者特殊借入金、戰時金融金庫特殊借入金、政府特殊債權及第六條第三項依リ政府ノ認可ヲ受ケタルトキハ此ノ限りニ在ラズ

一 政府ノ指定スル金融機關ニ讓渡セントスルトキ

二 政府ノ指定スル金融機關ニ擔保ニ供シテ貸付ヲ受ケントスルトキ

三 其ノ他勅令ヲ以テ定ムルトキ

前項各號ノ場合ニ於テ前項ノ認可アリタルトキハ當該金融機關ハ命令ノ定ムル所ニ依リ前項ノ債權ヲ讓受ケ又ハ之ヲ擔保トシテ貸付ヲ爲スコトヲ要ス此ノ場合ニ於テハ當該金融機關ハ他ノ法令ノ規定ニ拘ラズ前項ノ債權ノ讓受又ハ之ヲ擔保トスル貸付ノ業務ヲ行フコトヲ得

前項ノ規定ハ元利支拂ニ付政府ノ保證ナキ債務者特殊借入金ノ債權ニ關シテハ之ヲ擔保トスル貸付ノ業務ヲ行フコトヲ得

第一項ノ規定ハ第一項ノ債權ニ對シ強制執行又ハ國稅徵收法ノ規定若ハ國稅徵收ノ例ニ依ル滯納處分ヲ爲スコトヲ妨げズ

第十五條 政府特殊借入金及政府特殊債權ニ關スル事務ハ命令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ日本銀行ヲシテ取扱ハシムルコトヲ得

前項ノ事務ノ取扱ニ要スル經費ハ日本銀行ノ負擔トス

政府ハ日本銀行ニ命ジ政府特殊借入金ノ元利支拂ヲ爲サシムル爲之ガ資金ヲ求ムベシ

第十六條 本法ニ規定スルモノノ外政府特殊借入金、特殊預金、特殊金錢信託、債務者特殊借入金、戰時金融金庫特殊借入金、政府特殊債權及第六條第三項依リスル場合ヲ含ムノ規定ニ依リテ準用スル場合ヲ含ムノ規定ニ依リテ爲ス資金ノ融通ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十七條 命令ヲ以テ定ムル會社ノ營業ノ全部ノ讓渡又ハ解散ニ關スル株主總會若ハ社員總會ノ決議又ハ總社員ノ同意ハ命令ノ定ムル所ニ依リ政府ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ命令ヲ以テ定ムル會社ハ他ノ法令ノ規定ニ拘ラズ存立時期ノ満了ノ他定期ニ定タル解散事由ノ發生ニ依リテハ解散セズ

前項ノ規定ハ元利支拂ニ付政府ノ保證ナキ債務者特殊借入金ノ債權ニ關シテハ之ヲ適用セズ

第一項ノ規定ハ第一項ノ債權ニ對シ強制執行又ハ國稅徵收法ノ規定若ハ國稅徵收ノ例ニ依ル滯納處分ヲ爲スコトヲ得

第十八條 政府ハ第一條ノ目的達成ノ爲必要アリト認ムルトキハ命令ヲ以テ定ムル會社ニ對シ命令ノ定ムル所ニ依リ目的若ハ存立時期ノ他解散事由ニ關シ定タル款ノ變更ヲ命ジ又ハ會社ヲ繼續スベキコトヲ命ズルコトヲ得

第十九條 政府ハ第一條ノ目的達成ノ爲必要アリト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ設備、權利其ノ他ノ資產ノ出資又ハ讓渡等ニ因リ資產ノ大部分ガ有價證券又ハ債權ト爲リタル會社ニ對シ信託會社又ハ信託業務ヲ營ム銀行(以下信託業者ト總稱ス)ニ其ノ資產ヲ信託シ又ハ其ノ資產ノ管理ヲ委託スベキコトヲ得

第二十條 企業整備ニ關シ營業ノ全部又ハ一部ヲ廢止又ハ休止シタル會社及法令、法令ニ基ク命令又ハ行政官廳ノ指導若ハ斡旋ニ依リ繼續又ハ合併ヲ爲シタル會社ハ命令ノ定ムル所ニ依リ政府ノ許可ヲ受ケ他ノ法令ノ規定ニ拘ラズ勅令ヲ以テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得

第二十一條 政府ハ第一條ノ目的達成ノ爲必要アリト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ設備、權利其ノ他ノ資產ノ出資又ハ讓渡等ニ因リ資產ノ大部分ガ有價證券又ハ債權ト爲リタル會社ニ對シ信託會社又ハ信託業務ヲ營ム銀行(以下信託業者ト總稱ス)ニ其ノ資產ヲ信託シ又ハ其ノ資產ノ管理ヲ委託スベキコトヲ得

第二十二條 企業整備ニ關シ法令、法令ニ基ク命令又ハ行政官廳ノ指道若ハ斡旋ニ依リテ爲ス會社ノ設立、繼續、定期ノ變更、營業ノ全部若ハ一部ノ讓渡若ハ讓受、合併又ハ資本ノ增加ニ關シ要ナル命令ヲ爲シ又ハ其ノ減少ヲ制限スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ信託業者ハ資產ノ信託ノ引受ヲ爲シ又ハ資產ノ管理ヲ受託スルコトヲ要ス

第十四條 政府特殊借入金、特殊預金、特

第二十三條 命令ヲ以テ定ムル法人解散シタルトキハ其ノ殘餘財産ノ分配ハ金錢以外ノモノヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得ニ依リ法人財産ノ換價其ノ他ノ處分及前項ノ法人ノ清算人ハ命令ノ定ムル所残餘財産ノ分配ニ付裁判所ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス

裁判所ハ第一項ノ法人ノ清算人ニ對シ法人財産ノ換價其ノ他ノ處分及殘餘財產ノ分配ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

行政官廳ハ第一項ノ法人ノ清算人ニ對シ裁判所ニ對シ必要ナル意見ヲ述ブルコトヲ得

第二十四條 政府ハ第一條ノ目的達成ノ爲必要アリト認ムルトキハ企業整備ニ關シ事業ノ全部又ハ一部ヲ廢止又ハ停止シタル者、事業ニ屬スル設備、權利其ノ他ノ資產ヲ取得又ハ處分シタル者及此等ノ者ト債務關係アル者ノ金錢債務ノ條件、擔保等ノ調整ニ關シ命令ノ定ムル所ニ依リ必要ナル指示ヲ爲スコトヲ得

政府ハ前項ノ規定ニ依ル指示ニ從ヒタル者ニ對シ其ノ指示ニ從ヒタルニ因リ蒙リタル損失ヲ補償スルノ契約ヲ爲スコトヲ得

前項ノ損失ヲ決定スル基準ハ大藏大臣之ヲ定ム

第二項ノ補償金ノ額ニ付テハ豫メ帝國議會ノ協贊ヲ求ムベシ

第二十五條 政府ハ必要アリト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ報告ヲ徵シ又ハ當該官吏ヲシテ必要ナル場所ニ臨檢シ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ検査セシ

第二十六條 本法ノ施行ニ關スル重要事項ニ付政府ノ諸問ニ應ズル爲企業整備資金委員會ヲ置ク
企業整備資金委員會ノ組織及權限ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十七條 企業整備ニ關シ轉業又ハ廢業ヲ爲ス商工業者等ガ國民更生金庫ニ對シ讓渡其ノ他ノ處分ヲ爲ス資產ノ評價ニ關スル事項ハ轉廢業者資產評價委員會ノ議ヲ經ルコトヲ要ス
企業整備ニ關シ產業設備營團ガ產業設備營團法第十七條第一項第一號又ハ第五號ノ規定ニ依リ買受クル設備ノ評價ニ關スル事項ハ產業設備評價委員會ノ議ヲ經ルコトヲ要ス
轉廢業者資產評價委員會及產業設備評價委員會ノ組織及權限ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十八條 政府ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勅令ヲ以テ定ムル者ヲシテ本法ニ規定スル職權ノ一部ヲ行ハシムルコトヲ得

第二十九條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ二年以下ノ懲役又ハ三千圓以下ノ罰金ニ處ス

一 第三條ノ規定ニ基ク命令ニ違反シタル者

二 第四條ノ規定ニ違反シタル者

三 第二十三條第二項ノ規定ニ違反シ又ハ同條第三項ノ規定ニ基ク命令ニ違反シタル者

三十條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ六月以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ

二 第十二條第一項（第七條第二項ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）ノ規定ニ違反シタル者

三 第十四條第二項ノ規定ニ違反シタル者

四 第十八條ノ規定ニ基ク命令ニ違反シタル者

五 第十九條第一項若ハ第四項ノ規定ニ基ク命令ニ違反シ又ハ同條第二項ノ規定ニ違反シタル者

六 第二十一條ノ規定ニ基ク命令又ハ制限ニ違反シタル者

七 第二十五條ノ規定ニ依ル臨檢検査ヲ拒ミ、妨ゲ又ハ忌避シタル者

第三十一條 第二十五條ノ規定ニ依ル報告ヲ爲シ又ハ本法若ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依リ提出スル書類ニ虛偽ノ記載ヲ爲シタル者ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十二條 法人ノ代表者又ハ法人若ハ人ノ代理人、使用人其ノ他ノ從業者が其ノ法人又ハ人ノ業務ニ關シ第二十九條、第三十條第一號乃至第六號又ハ前條ノ違反行爲ヲ爲シタルトキハ行爲者ヲ罰スルノ外其ノ法人又ハ人ニ對シ各本條ノ罰金刑ヲ科ス

第三十三條 當該官吏其ノ他勅令ヲ以テ定ムル者、第二十八條ノ規定ニ依リ政府ノ職權ノ一部ヲ行フ者（其ノ者ガ法人ナルトキハ當該職權ニ屬スル事務ニ從事スル職員）、政府特殊借入金若ハ政府特殊債權ニ關スル事務ニ從事スル日本銀行職員又ハ此等ノ職ニ在リタル者

本法ニ依ル職務執行ニ關シ知得タル法
人又ハ人ノ業務上ノ祕密ヲ漏洩シ又ハ
竊用シタルトキハ二年以下ノ懲役又ハ
二千圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十四條 本法ヲ朝鮮又ハ臺灣ニ施行
スル場合ニ於テ必要アルトキハ勅令ヲ
以テ特別ノ定ヲ爲スコトヲ得

附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
臨時租稅措置法中左ノ通改正ス

第一條ノ四ニ左ノ一號ヲ加フ

六 法人ノ命令ヲ以テ定ムル場合ニ於
ケル資產ノ評價換ニ因ル益金

第一條ノ十八中「命令ヲ以テ定ムル者ニ」
ヲ削リ「有債證券」ノ下ニ「其ノ他命令
ヲ以テ定ムルモノ」ヲ加フ

第一條ノ二十八中「命令ヲ以テ定ムル者
ニ」ヲ削ル

第一條ノ二十九 企業整備資金措置法ニ
規定スル政府特殊借入金ノ利子ニ付テ
ハ命令ノ定ムル所ニ依リ分類所得稅ヲ
輕減シ又ハ所得稅法ニ依ル所得若ハ法
人稅法ニ依ル所得ノ計算ニ關シ特例ヲ
設クルコトヲ得

命令ヲ以テ定ムル金融機關方前項ノ政
府特殊借入金ノ債權ヲ擔保トシテ貸付
ケタル貸付金ノ利子ニ付テハ法人稅法
ニ依ル所得ノ計算ニ關シ命令ヲ以テ特
例ヲ設クルコトヲ得

第一條ノ三十 法令、法令ニ基ク命令又
ハ行政官廳ノ指導若ハ幹旋ニ依リ昭和
十八年一月一日以後ニ於テ其ノ事業ノ
全部又ハ一部ヲ廢止又ハ休止シタル法
人ニシテ命令ヲ以テ定ムルモノニ付テ
ハ命令ノ定ムル所ニ依リ廢止又ハ休止

ノ日以後ニ於テ納付スペキ所得稅、法人稅、營業稅又ハ臨時利得稅ヲ輕減スルコトヲ得

（國務大臣賀屋興宣君演壇ニ登ル）○國務大臣（賀屋興宣君）口今議題トナリマシタ企業監視官金員質法案ニ付キマシテ、

提案ノ理由ヲ説明致シマス、大東亞戦争ガ
決戦段階ニ入ルニ對處致シマシテ、戦争ノ
完遂ヲ確乎不拔ノモノタラシムル爲ニハ、
之ガ爲ノ重要ナル手段ト致シマシテ、政府
ハ從來行ヒ來リマシタ企業ノ整備ヲ擴充シ
スルノ要緊切ナルモノガアルノデアリマス、
斷行致サムトスルモノデアリマス、而シテ
大規模ノ企業整備ヲ斷行スルコト相成リ
マシテ、此ノ際更ニ大規模ナル企業整備ヲ
ニハ、之ニ伴ヒマシテ莫大ナル資金ノ移動
ヲ生ズルノデアリマス、巨額ナル資金ガ所
謂浮動購買力化シ、種々ノ弊害ヲ醸シマシ
テ、戦時經濟ノ運營上由々シキ不安ヲ惹起
スル虞ガアルノデアリマス、戦時生産ノ能
率ヲ發揮致シマスル爲ニハ、其ノ基礎的要
件ト致シマシテ、國內經濟ノ秩序ガ維持セ
ラレ、通貨物資等ノ狀態及ビ之ニ關スル運
營ガ健全ニ確保セラル、コトヲ必要ト致ス
ノデアリマス、而シテ之ガ爲必要ナル金融
ノ統制ニ付キマシテハ、支那事變以來、一
億國民ノ激烈ナル協力實踐ニ依リマスル國
民貯蓄ノ増強ト、他面資金使用部面ニ於キマ
スル各種ノ調整等ト相俟シテ、克ク大戰下
ノ要請ニ應ヘ來ツタノデアリマス、併シナ
ガラ大ナル企業整備方行ハル、コトト相成
リマスル時ハ、之ニ關スル資金ノ移動ハ、
普通ノ場合ヨリモ其ノ趣ヲ異ニ致シマシテ、

資本的ナル物ノ移動ニ伴フモノニアリマシテ、此ノ場合ニ於テハ新タル生産行爲無ク、即チ之方爲資材勞力等ニ對スル經費ノ支拂ノ必要ナクシテ、既存ノ設備等ヲ賣却讓渡致シマシテ、從ツテ多額ノ資金受入ガ行ハレマスル結果、巨額ナル受入資金ハ、所謂浮動購買力化スルノ危険が多分ニ存スルノデアリマス、而シテ生産行爲ヲ伴フ場合ニ比較致シマシテ、其ノ代金ハ、之ヲ受入レタル側ニ於キマシテ其ノ儘保有致シマシテ差支ノナイ筋合ノモノニアリマス、從ヒマシテ企業整備ニ當リマシテハ、現金ノ移動ヲ伴ハヌ方法ニ依リマシテ、之ヲ決済セシムルノ必要ガアルノデアリマス、現金ノ移動ヲ伴ハナイ決済ノ方法ト致シマシテハ、一應國債其ノ他ノ有價證券ノ交付ト云フコトモ考ヘラレルノデアリマス、併シ此ノ場合ニ於キマシテハ、其ノ有價證券ガ轉々ヲ講ジマスルト致シマスレバ、元來自由ニ流通ヲ致ス實際上、場合ガ多イ觀測デアリマス、而シテ其ノ轉々流通ヲ阻止スル方法ヲ講ジマスルト致シマスレバ、斯カル流通シ得ルト云ワコトガ一ツノ性格デアリマスル有價證券ノ流通ヲ、大イナル範圍ニ於テ制限スルコトナリマス、例外的にはクノ如キ事ガアリマスルノハ差支アリマセスガ、今回ノ如キ大規模ナル企業ノ整備、數十億圓ノ資金ノ移動ヲ伴ヒマスル場合ニ、其ノ大部分ノ支拂ニ付キマシテ、其ノ有價證券ニ付キマシテ制限ヲ致シマスルガ如キコトハ、國債證券等ノ性質ニ鑑ミマシテ適當デナイノデアリマス、斯カル考案ノ下ニ、今回ハ特殊ナル決済方法ノ新構想ヲ採用スル必要ガ生ジタノデアリマシテ、是ガ本法律案ヲ提出スルニ至リマシタ理由デアリマス、是ヨリ本案ノ内容ノ概略ニ付キ

マシテ 説明ヲ申上ダマス、先ヅ本案ニ於キ
時金融金庫特殊借入金、政府特殊借入金、戰
マシテ、斯カル資金ノ決済ニ當リ、特殊預
此ノ五ツノ新タナル方法ヲ設ケマシテ、債
權者ヲシテ概ネ其ノ欲スル所ニ依リ選擇ス
ルノ餘地ヲ廣カラシムルニ努メテ居ルノデ
アリマス、特殊預金ノ方法ト申シマスルノ
ハ、債務者ガ支拂ヲ要スル金額ヲ、政府ノ
指定スル金融機關ヘノ債權者ノ預金ト爲ス
コトニ依リ決済ヲ致スモノデアリマス、特
殊金錢信託ノ方法ト申シマスルノハ、債務者
ガ支拂ヲ要スル金額ヲ、政府ノ指定スル金融
機關ヘノ債權者ヲ信託者及受益者トスル金錢
信託ト爲スコトニ依リ決済スルモノデアリマ
ス、債務者特殊借入金ノ方法トヘ、債務者ガ
支拂ヲ要スル金額ヲ、債權者ヨリノ債務者ノ
借入金ト爲スコトニ依リ決済ヲ致スモノデ
アリマス、戰時金融金庫特殊借入金ノ方法ト
申シマスルハ、債務者ガ支拂ヲ要スル金額
ヲ戰時金融金庫ニ納付シ、債權者ヨリノ戰
時金融金庫ノ借入金ト爲スコトニ依リ決済ヲ
致スモノデアリマス、又政府特殊借入金ノ方法
ニ係ル決済ハ、債務者ガ支拂ヲ要スル金額
ヲ政府ニ納付シ、債權者ヨリノ政府借入金
ト爲スコトニ依リ決済ヲ致スモノデアリマ
ス、而シテ是等ノ方法ヲ採ル場合、政府ハ
必要ニ應ジ當該金融機關ニ對シ、所要ノ資
金ノ融通ヲ爲スベキコトヲ命ズルコトヲ得
ルコトト致シテ居ルノデアリマス、以上申
述べマシタ五ツノ方法ニ依リ生ジマスル債
權ニ付キマシテハ、一般的ニハ、之ヲ讓渡
シ又ハ擔保ニ供スルコトハ認メナインデア
リマス、併シナガラ債權者ガ從前ヨリノ從
業者ニ對スル浪職給與金ノ給與、納稅、債

務ノ辨済、時局緊要産業ヘノ投資等、債權者ガ現金ヲ必要ト致シマスル理由ガ適當デアリマスル場合ニハ、迅速確實ニ資金化シ得ル特殊方法ヲ講ズルモノデアリマス、即チ政府ノ定メタル手續ニ依リ、是等ノ場合、政府特殊借入金、特殊預金、特殊金錢信託、債務者特殊借入金、又ハ戦時金融金庫特殊借入金ニ付テハ、債權者ガ是等ノ債權ヲ政府ノ指定スル金融機關ニ譲渡シ、又ハ之ヲ擔保ニ供シテ資金ノ供給ヲ受ケ得ルコト致シテ居ルノデアリマス、其ノ外特殊預金、特殊金錢信託ニ付キマシテハ、之ガ拂戻又ハ解除ヲ受ケ、又債務者特殊借入金、戦時金融金庫特殊借入金ニ付キマシテハ、之ガ償還ヲ受ケ得ルノ途ヲ設ケテ居ルノデアリマス、次ニ企業整備ニ依リマシテ事業ヲ廢止又ハ休止セネバナラス會社ガ多數生ズルコトトナルノデアリマスルガ、其ノ際、通常ノ如ク會社ガ解散ヲ致シマシテ殘餘財産ノ分配ヲ致シマスル時ハ、財産ノ分散解消逸ガ起リ、浮動購買力發生ノ機會ガ多シメテ置キマスル爲、之ヲ各種特殊債權ノ保有會社トシテ、繼續セシメ得ルニ必要ナル規定ヲ設ケテアルノデアリマス、併シナガラ斯カル事業經營ヲ行ハザル會社ニ付キマシテハ、其ノ資產ノ管理ヲ他ニ委託シテ、會社等ニ對シ資產ノ信託、或ハ其ノ管理ノ委託ヲ爲シ得ルヤウ規定ヲ致シテ居ルノデアリマス、又斯カル會社ノ經理ニ付キマシテ、政府ハ當該會社ニ命ジマシテ、信託會社等ニ對シ資產ノ信託、或ハ其ノ管理ノ委託ヲ爲シ得ルヤウ規定ヲ致シテ居ルノデアリマス、又斯カル會社ノ經理ニ付キマシテ

當率等ガ急激ニ變動ヲ致スコトヲ防止スル措置ヲ講ゼムトスルモノデアリマス、尙特ニ解散ヲ認ムル場合ニ於キマシテモ、裁判所ガ清算社ニ對シ、浮動購買力化防止下云フ見地カラモ之ヲ監督シ得ルコトヲ致シテ居ルノデアリマス、此ノ外、他ノ企業ヲ吸收セムトスル會社ニ對シ、必要ニ應ジ、政府ニ於テ増資命令ヲ發シ、或ハ整備企業ニ關係アル既存債權債務ニ付キマシテ、必要ニ應ジ政府ヨリ指示ヲ爲シ得ルコトヲ規定致シ、企業整備ノ促進ニ資セムトスルモノニアリマス、企業整備ハ、設備營業等ノ存廢讓渡等ヲ國家的要請ニ依リマシテ行フモノニアリマスルカラ、之ガ實施ニ當リマシテハ、其ノ際生ズル所ノ當事者ノ損失ヲ、國家ノ負擔ニ於テ調整致シマスルコトガ必要デアルト考ヘルノデアリマス、仍テ政府ハ、アルト考ヘルノデアリマス、尙企業整備ニ關聯シタル事業ニ屬スル設備權利其ノ他廢止シタル事業上過重ナル負擔ヲ蒙ラナケレバナラヌガ如キコトガアリト致シマスレバ、負擔ニ適正ヲ期シ得ザルト致シマスレバ、企業整備ノ圓滑ナル實施ヲ阻碍致スコト相成リマスノデ、租稅ノ減免ニ付テ規定ヲ設ケ、政府特殊借入金ノ利子ニ付テハ分類所得稅ヲ輕減スルコトトシ、又事業ノ全部又ハ一部ヲ廢止致シマスル法人ニ對シマシテハ、其ノ事情ヲ見究メシテ、法人稅、營業稅等ヲ輕減シ得ルコトヲ致シテ居ルノデアリマス、本法案ノ要旨ハ大體以上ノ通リデゴザイマス、而シテ政府ト致シマシテハ、本法案ノ實施運營ニ當リ

當率等ガ急激ニ變動ヲ致スコトヲ防止スル措置ヲ講ゼムトスルモノデアリマス、尙特ニ解散ヲ認ムル場合ニ於キマシテモ、裁判所ガ清算社ニ對シ、浮動購買力化防止下云フ見地カラモ之ヲ監督シ得ルコトヲ致シテ居ルノデアリマス、此ノ外、他ノ企業ヲ吸收セムトスル會社ニ對シ、必要ニ應ジ、政

マシテハ、事柄ノ性質ニ顧ミ、常ニ當事者ノ同情ズベキ立場ニ在ルト云フコトニ顧ミマシテ、一、當事者ニ不當ノ損失ヲ生ズルコトナカラシメ利害損益ヲ適正ナランムコトト、二、總テノ手續ヲ出來得ル限り迅速簡易ナラシムルコト、三、所要ノ資金化ヲ容易確實ナラシムルコト、其ノ他成ルベク當事者ノ利便ヲ計ルコトニ努ムル考デアリマス、デハアリマスルガ、何サマ特殊ナル構想ニ依ル新決済方法ニ依ルモノデアリマスルカラ、當事者ニ於キマシテモ相當不便ヲ感ゼラル、所モアラムカト存ズルノデアリマス、又關係金融機關等ニ於テハ、相當事務ノ繁忙ヲ生ズルコトアリト考ヘラレルノデアリマス、併シナガラ斯カル方法ノ採用ハ、經濟秩序ノ維持浮動購買力ノ防止下云フ戰時經濟ノ絶對的要請ヨリ出ヅルモノデアリマスルカラ、能ク其ノ根本ノ趣旨及ビ具體的方法ノ内容ニ付諒解スルニ努メラレ、十分國民特ニ關係者ノ御協力ヲ願ヒタイト存ジテ居ルノデアリマス、今回ノ企業整備ニ依リ、積極的ニ戰爭生產力ノ增强ヲ圖リ、他面惡性インフレーション防止テ云フ重要目的ヲ達成シマシテ、兩者相俟テ國家物的綜合戰力ノ一大飛躍ヲ實現致シテ上速カニ御協賛ヲ與ヘラレムコトヲ切望致シマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 御異議ナイト認メマス、特別委員ノ氏名ヲ朗讀致サセマス

〔小野寺書記官朗讀〕
企業整備資金措置法案特別委員
公爵桂 廣太郎君 侯爵細川 護立君
侯爵中山 輔親君 伯爵山本 清君
子爵曾我 祐邦君 子爵大河内 正敏君
子爵織田 信恒君 子爵大岡 忠綱君
子爵阪谷 希一君 三井清一郎君
川村 竹治君 伍堂 駿雄君
子爵久保田敬一君 男爵東郷 安君
男爵飯田精太郎君 吉野 信次君
男爵肝付 兼英君 男爵益田 太郎君
坂野鉄次郎君 竹内 可吉君
瀧 正雄君 竹下 豊次君
龍川 儀作君 岩田 宙造君
昭和十八年六月十七日

附則
昭和十八年法律第九號ハ昭和十八年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律ナリ
〔國務大臣賀屋興宣君演壇ニ登ル〕
○國務大臣(賀屋興宣君) 只今議題トナリ
マシタ昭和十八年法律第九號中改正法律案提出ノ理由ヲ説明致シマス、昭和十八年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲必要ナル公債ノ發行ニ關シマシテハ、曩ニ第八十一回帝國議會ノ協賛ヲ經テ昭和十八年法律第九號ノ公布ヲ見テ居ルノデアリマスルガ、今回提出致シマシタ昭和十八年度歲入歲出總豫算追加第一號ニ計上致シマシタ經費ノ財源ノ一部ト致シマシテ、更ニ三億千三百二十萬圓ヲ限リ公債ヲ發行スルコトヲ必要ト致シマス爲、同法ニ規定スル公債ノ發行限度法定額ヲ三億千三百二十萬圓ダケ増加スルノ必要ガアリマスルノデ、本法律案ヲ提出致シマシタ次第デアリマス、何卒御審議ノ上速カニ協賛ヲ與ヘラレムコトヲ希望致シマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○子爵秋田重季君 贊成

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 戸澤子爵ノ動議ニ御異議ハゴザイマセヌカ

ト認メマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 御異議ナイ
動議ニ御異議ゴザイマセヌカ

ト認メマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 御異議ナイ
動議ニ御異議ハゴザイマセヌカ

ト認メマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 戸澤子爵ノ動議ニ御異議ハゴザイマセヌカ

ト認メマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 御異議ナイ
動議ニ御異議ハゴザイマセヌカ

ト認メマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 戸澤子爵ノ動議ニ御異議ハゴザイマセヌカ

ト認メマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

〔異議ナシト呼

百餘萬圓ト相成リマスガ、之ニ臨時軍事費特別會計ニ屬スル分、百七十一億六千三百餘萬圓、其ノ他ノ特別會計ニ屬スル分、今回提出ニ係ルモノヲ含メマシテ、十一億七千七百餘萬圓トナリマスカラ、之ヲ加ヘマスト、昭和十八年度ニ於ケル公債發行豫定額ハ、總額デ二百十八億六千餘萬圓ニ達スルノデアリマス、次ニ歲出ニ付テ申シマスガ、歲出追加額ハ、經營部ニ於テ七萬圓、臨時部ニ於テ六億九千九百餘萬圓デアリマス、其ノ事項別ノ内譯ハ、企業整備ニ關スル經費ガ一億五千三百餘萬圓、米穀生産確保ニ關スル經費ガ四億四千萬圓、食糧緊急增產ニ關スル經費ガ二千五百餘萬圓デアリマス、右ノ内、商工省所管ノモノガ矢張り企畫食糧營團出資、金屬類特別回收費補助、價格差損及爲特差損補償金等デアリマス、右ノ内、商工省所管ノモノガ矢張り企畫整備ニ關シマシテ重要ナモノデアリマスカラ一言加ヘテ置キマスト、企業整備其他損失補償及補助ニ付キマシテハ、今回ノ企業整備ノ爲ノ所要總額ハ二十二億餘萬圓デアリマスガ、既ニ前ノ議會ニ於テ協贊ヲ受ケテ居リマスル分ガ十億餘萬圓アリマスカラ、差引キ十二億一千萬圓デアリマスガ、是モ亦既ニ協贊共助資金利子補給ニ付キマシテハ、今回ノ企業整備ノ爲利子補給ヲ要スル元本總額ハ三億五千餘萬圓デアリマスカラ、是モ亦既ニ協贊共助資金利子補給ニ付キマシテハ、是デ以テ充當シ得ル分ガ八千餘萬圓アリマスカラ、之ヲ差引キマシテ、元本金額二億六千餘萬圓ヲ増額スル爲ノ改定ヲ行ハウト云フ説明デアリマス、是デ以テ大體昭和十八年度ノ豫算案三件ノ説明ヲ終リマス、豫算委員會ハ本日午前九時三十分開會致シ大ナ豫算外ノ豫算ガ積ツテアルノデアリマス、先づ其ノ主ナルモノヲ擧ゲマスト、ドウシテモ大キナモノハ、甲トシマシテ、企業整備ニ關スルモノデアリマス、一般會計大ナ豫算外ノ豫算ガ積ツテアルノデアリマス、先づ其ノ主ナルモノヲ擧ゲマスト、ドウシテモ大キナモノハ、甲トシマシテ、企業整備ニ關スルモノデアリマス、一般會計

補助ガ十二億千萬圓、中小商工業者轉廢業共助資金利子補給元本金額ノ増加ガ二億六千八百餘萬圓デアリマス、ソレカラ特殊預金及特殊金錢信託取扱機關損失補償及補助ガ五億八百萬圓、政府特殊借入金借入並債券者特殊借入金及戰時金融金庫特殊借入金元利保證ガ三十五億圓、ソレハ一般會計デアリマス、特別會計ニ於キマシテハ、朝鮮產業物資營團出資ガ千萬圓、朝鮮產業物資營團債券元利保證ガ一億圓デアリマス、其ノ他即チ之ヲ乙ト致シマシテハ、朝鮮食糧營團出資、企畫整備ニ關シマシテ重要ナモノデアリマスカラ、是モ亦既ニ協贊共助資金利子補給ニ付キマシテモ一貫作業ヲスルト云フト、鋼鐵モ鋼鐵モ立ドコロニ澤山產出サレルコトニナツテ、サウシテ南洋ノコトデアリマス、其ノ他即チ之ヲ乙ト致シマシテハ、朝鮮食糧營團出資、企畫整備ニ關シマシテ重要ナモノデアリマス、右ノ内、商工省所管ノモノガ矢張り企畫整備ニ關シマシテ重要ナモノデアリマスカラ、是モ亦既ニ協贊共助資金利子補給ニ付キマシテモ一貫作業ヲスルト云フト、鋼鐵モ鋼鐵モ立ドコロニ澤山產出サレルコトニナツテ、サウシテ南洋ノコトデアリマス、今日被轉換者ト云フモノハ相當ニスカラ樹木モ多イ、木材モ多イコトデアラウカラ、船ナドヲ造ルニ於キマシテモ一貫作業デ隨分早ク進捗スル譯デアルガ、サウスカラ有機的ニ具體的ナ方策ヲ企業整備ノ方面カラ亦立テタラドウ云フモノデアラウカ、之ニ對シテ政府ハソレハモウ外地モ南方モ内地モ一貫シテ、十分ニ實效ノ舉ガルヤウニ又計畫ヲ行ヒツ、アルノデアルカ、之ニ對シテ政府ハソレハモウ外地モアリマス、戰時行政職權特例ト云フモノガ此ノ前ニ出タノデアルガ、是ハ今日ドウ云フ風ニ運用サレテ居ルカ、最近ニ内閣顧問ト云フモノガ出來マシテ、此ノ顧問制デ、國務大臣ガ一緒ニナツテ虛心坦懐ニ時局ニ關スル重要問題ヲ熟議致シマシテ、民間側ノ考案希望ヲ十分參酌シ、サウシテ一致シタ意見ヲ採ツテ、政府ハ行政職權特例ヲ斷行シテ行クノデアッテ、著々色々ノ問題ニ付テ進行中デアルト云フコトデアリマス、次ニハ軍管理工場ト、商工省、遞信省、鐵道省方面等色々ノ工場ガアルガ、此ノ軍關係ト軍以外ノ工場トノ間ニ相互ノ連絡ヲ圖ッテ、之ニ又有機的ニ一貫的ナ仕事ヲ以テ活動スルヤウニシナケレバナラヌト思フガ、ソレニシテモ物、人、時、此ノ三者ノ

豊富ニアル、「スクラップ」ガ澤山アル、石灰石ガ豊富ニアル、サウシテ一方「マライ」半島ニ於キマシテハ、鐵礦ガ豊富ニアリマス、之ニ小サイ鑄鐵爐デモ造ツテ、寧ロ組織的ニ有機的ニ一貫作業ヲスルト云フト、銑鐵モ鋼鐵モ立ドコロニ澤山產出サレルコトニナツテ、サウシテ南洋ノコトデアリマス、今日被轉換者ト云フモノハ相當ニスカラ樹木モ多イ、木材モ多イコトデアラウカラ、船ナドヲ造ルニ於キマシテモ一貫作業デ隨分早ク進捗スル譯デアルガ、サウスカラ有機的ニ具體的ナ方策ヲ企業整備ノ方面カラ亦立テタラドウ云フモノデアラウカ、之ニ付テ政府ハ次ノヤウニ言ッテ居リマス、今日被轉換者ト云フモノハ相當ニ多イ、併シ其ノ中ヲ見ルト又熟練シタ者モアル、此ノ被轉換者ノ賃銀ノ過當ニ多過ギルト云フコトデ以テ、工場ニ新シク行ッタ者ハ、從來居ツタ所ノ從業者ヨリモ賃銀ガ多、此ノ被轉換者ノ賃銀ノ過當ニ多過ギルト云フコトデ以テ、工場ニ新シク行ッタ者ハ、從來居ツタ所ノ從業者ヨリモ賃銀ガ多、此ノ被轉換者ノ賃銀ノ過當ニ多過ギルト云フコトデ以テ、工場ニ新シク行ッタ者ハ、從來居ツタ所ノ從業者ヨリモ賃銀ガ多、此ノ被轉換者ノ賃銀ノ過當ニ多過ギルト云フコトデ以テ、工場ニ新シク行ッタ者ハ、從來居ツタ所ノ從業者ヨリモ賃銀ガ多、此ノ被轉換者ノ賃銀ノ過當ニ多過ギルト云フコトデ以テ、工場ニ新シク行ッタ者ハ、從來居ツタ所ノ從業者ヨリモ賃銀ガ多、此ノ被轉換者ノ賃銀ノ過當ニ多過ギルト云フコトニ付テ政府ハ十分ニ注意シテ居ルノデアル、徵用ヲシタ初メナドハ、サウ云フ摩擦對立ガアリマシタガ、今日ハ時局ヲ大いニ認識ヲ致シマシテ、ソレガ徹底シタ爲ニ、新舊從業者一體ノ精神ガ顯ヘレテ、今日ハサウ云フコトハ餘り無ク、寧ロ喜バシイ結果ヲ來シテ居ル、一時的ニ離職スル者、即チ今回ノ企業整備デ以テ職ヲ離レル者ハドウシテモ起リマスガ、ソレ等ニ對シテハ能ク指導ラシテ、生活援護モスル、サウシテ成ルベク生產性ノナイ生活ヲ送ラナルヤウニ指導ラスルヤウニシタイト思ッテ居ル、又生產量、作業量ノ調査、是ハ此ノ前ヤツタ、ソレカラ勞務基準量ト云フモノヲ研究ヲシマシテ、大體成案ヲ得タノデアル、勞務ノ基準ノ標準ヲ得テ、ソレニ付テ今度ハ組織的ノ勤員ヲヤリタイト思ッテ居ル、サウスレバ御心配ノヤウナコトハ無クナル積リデアル、ソレカラ從來ノ教育ハ智育ニ偏シテ居ツタ、今日ハ卒業ス

ガ要ルノデアル、今迄ノヤウナ黒板式ノ、
單ニ智育ニ止マッテ居ルヤウナ教育ヲシテ
ハ、卒業後直グニ實務ニ間ニ合フモノデナ
イガ、其ノ點ハドウデアルカ、「ソヴィエ
ト」ノ狀況ヲ見ルト、五年計畫ヲヤルノニ
際シマシテハ、工場ノ内デ實務又實習ノ教
育ヲ施シテ、工場デ教育ヲシタ爲ニ、今日
デハアノ五年計畫ト云フモノハ實ニ立派ニ
「ソヴィエト」デハ出來テ居ルノデアル、サ
ウ云フ風ニ、智育ヨリモ矢張リ職業教育ノ
方ヲ、青少年ノ間ニモット餘計ニヤルヤウニ
シタナラバドウデアルカト云フ質問デアリ
マス、之ニ對シテ政府ハ、是ハ文部省ニ於
テ從來モ企テツ、アッタノデアル、多數ノ卒
業生ガ、今日ノ場合一日モ早ク實務化スル
ト云フコトハ、是ハドウシテモ考ヘナケレ
バナラナイ、其ノ爲ニ文部省ニ於テハ學徒
動員計畫ト云フモノヲ立案中デアル、又勤
労ノ協力ニハ企業者諸君ノ理解が必要デア
ル、學校ノ方デドウカシテ實習ヲヤリタイ
ト思テモ、工場ガ搬送付ケルト云フ傾向
ガ、動モスレバアルガ、是ハ一つ一體ニナッ
テヤッテ貰ヒタイモノデアル、學校ガ熱心デ
アッテモ當業者ガ便宜ヲ與ヘナイコトノナ
イヤウニ指導シテ行キタイモノデアル、學
徒動員計畫ハ、或期間、都市並ニ地方ニ各
適當ナ連絡ヲ執ル聯繫ヲ作ツテ、其ノ指導
能ク今日デモ行ツテ居ル、工場ノ中ニ青年
ヲ實行シタイト思ツテ居ル、又青年學校ノ
生徒ト云フモノハ、元來皆職場ニ在ツテ學
研ニ通ツテ居リマスカラ、此ノ方ハナカノ
面ノ教育ハ届イテ居ルガ、文部省ハ尙更以
テ此ノ方面ニ努力シタイト思フ、ソレカラ
學校ヲ持ツテ居ルモノハ、殊ニ能ク此ノ方
肥料飼料ヲ、五重要產業ト同様ニ取扱ツテ、
重大ナモノトシテ、此ノ肥料ノ方ト飼料ノ
方ヲ考へテ見タイガドウデアルカ、ソレカ
ラ此ノ米穀、米ヤ何カノ供出ノ量ヲ定メル
時期ガ今年ハ遲カツタ、ソレガ即チ失敗ノ因
ガ、其ノ點ハ安心が出來ルカ、之ニ對シテ
農林大臣ハ、十分ニ其ノ方面ノコトヲ考へ
テ居ル、今日畑ハ五萬町歩アルガ、其ノ五萬
町歩ノ中ニ粟トカ、稗トカ、大豆トカ、蕎
麥トカ云フヤウナモノヲ植付ケマシテ、又
稗ノ如キハ今日モウ既ニ播キ付ケテ相當ニ
發育ヲシテ居ル、サウ云フ方面モ致シ、色々
ノ方面カラ、先ヅ此ノ端境期ハ無事ニ經
過シ得ルト思フノデアル、甚ダシキ天災ト
カ何トカ云フモノサヘナケレバ、無事ニ此
ノ端境期ハ行クモノノデアルト云フ答辯ニア
リマス、之ニ付テ色々ノ數字モアリマスガ、
ソレハ祕密ニ屬シマスカラ申上ゲルコトハ
出來マセヌ、ソレカラ農業指導員ノ優遇問
題竝ニ民間人ヲ採用シテハドウカ、ドウモ
農業指導員ト云フ者ガ今日出來テ居ルケレ
ドモドウモ熱ガ少ナイ、ト云フノハ、外ノ
職業ニ行ケバ五圓、六圓ト云フモノガ取れル
ノニ、農業指導員ハ優遇サレテ居ナイモノ
デスカラ、ドウモ熱ガナイ、之ヲ何トカシ
タラドウデアルカ、又民間ニハ相當ナ熟練
シタ農業方面ノ人ガ居ルガ、サウ云フ人ニ
チツト相談ヲシテ、サウシテ政府ハ能ク農村
ガ振興スルヤウニ圖ツテ行カレタイモノデ
アルガ如何ナモノデアルカ、ト云フコトデ
アリマス、其ノ方面ハ又大イニ考ヘテヤル、
肥料飼料ヲ、五重要產業ト同様ニ取扱ツテ、
重大ナモノトシテ、此ノ肥料ノ方ト飼料ノ
方ヲ考へテ見タイガドウデアルカ、ソレカ
ラ此ノ米穀、米ヤ何カノ供出ノ量ヲ定メル
時期ガ今年ハ遲カツタ、ソレガ即チ失敗ノ因

供出量ヲ決メテ發表スレバ、農家ノ方デモ其ノ氣ニナッテ生産ニ努力スルノデアルカラ、其ノ發表ノ時期ヲ少シ早メタラドウカ、食糧増產ト云フコトニナルト、土地ノ改良ト云フコトガ一日モ早ク必要ニナルノダ、此ノ點ハドウカ、ソレ等ノ點ニ付キマシテ農林大臣ヨリソレゞ、答撃ガアリマシタ、即チ土地ノ改良ト云フコトハ最モ必要ナコトデアツテ、土地ガ良クナレバ農產物モ增加スルノデアルカラ、其ノ方面ハ目下農省ニ於テ立案中デアル、ソレカラ農業ハ技術ガ第一デアル、不毛ナ烟デモ、其ノ技術如何ニ依ツテハ豐カル烟トナルノデアリマスカラ、技術ヲ非凡ニ重ク見ナケレバナラナイ、從ツテ質問ヲナサツタ如クニ、例へバ薩摩芋ニ於テハ、丸山トカ、小澤トカ云フヤウナ熟達者ガアリマスカラ、サウ云フ方ニ協力ヲ願フコトニ致シマス、麥、大麥ニハ又其ノ方面ニ熟達者ガアリマスカラ之ニ御協力ヲ願フ、又三段歩以上ノ土地ヲ持ツテ居ル農家、小作人ナドハ徵用シナイト云フコトニ決メテアル、ソレ等モ出來ルダ々、一つ農村ヲ離レナイヤナコトハ今日誠ニ悲シムベキ問題デアルガ、ウニ工夫ヲスルノデアル、今日ハ疑似徵用ト云フコトガ行ハレルコトモアツテ、本當ノ徵用ラシイ聲デ以テ農民ヲ勸誘スルヤウナコトモ聞イテ居ルガ、サウ云フコトノナイ雖モ、是ガ圓滑ニ、ギコチナク行カナイヤリマス、供出量ノ決定ニ付テハ、早ク之ヲスルコトニハ贊成デアル、決定ヲシタ後ト、ルヤウデハ、本當ノ愛着心ト云フモノガ其處

總員起立

○副議長(侯爵佐佐木行忠君)別ニ御發言モナケレバ、是ヨリ採決ヲ致シマス、御異議ガナケレバ、三案全部ヲ問題ニ供シマス、三案ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ願ヒマス

其ノ後更ニ又質疑ニ入り、討議ニ移リ、採決ヲ致シマシタ處、以上三案全部、全會一致ヲテ原案通り可決ト相成リマシタ、右ヲ以テ御報告ト致シマス。

尙細カイ點ニ付テ質問應答モアリマシタガ、ソレ等ハ速記錄ニ譲リマス、以上ヲ以テ質問應答ハ大體終リマス、ソレカラ密會ヲ開キマシタガ、其ノ内容ハ申上ダマセヌ、

云フコトニナレバ、ソレ釋心體ナコトハナ
イダラウト思フ、又米ノ價格ハ餘リ安カツタ
モノデアリマスカラ此ノ際改正ヲシタヤウナ
次第デアル、ト云フヤウナ墨デアリマス、

ニナイノデアルガ、併シ日本ニハ幸ニ郷土
ヘノ愛着心ガアル、ソレハ實ニ尊ブベキモ
ノデアル、サウ云フコトデ今日ハ又其ノ方

○副議長（候爵佐佐木行忠右）御異議ナイ
ト認メマス、委員長溝口伯爵

案 昭和十七年法律第十三號中改正法律
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及
取告候也

對シマシテ、海軍工廠資金特別會計ニ屬スル材料物品ヲ賣拂ッテ、之ヲ當該船舶ノ製造又ハ修理ヲ促進スル爲ノ法律デザイマス次ノ昭和十八年法律第九號中改正法律案、是ハ只

貴族院議長伯爵松平頼壽殿
委員長 伯爵溝口直亮
昭和十八年法律第九號中改正法律案
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及
報告候也

和十六年六月十八日
委員長 伯爵溝口直亮
貴族院議長伯爵松平賴壽殿

〔伯爵溝口直亮君演壇ニ登ル〕

付テ御報告申上ゲマス、委員會ハ昨日開キ
マシテ、先づ昭和十七年法律第一二十三號中
改正法律案ニ關シ大藏當局ヨリ説明ヲ受

第九號中改正法律案ヲ追加セラレマシテ、
之ニ付キマシテ午後二時ヨリ大藏當局ヨリ
説明ヲ承リマシタ、次デ質疑ニ入り、兩案
共政府提出通り可決致シマシタ、是ヨリ政

斯、昭和十七年法律第二十三號中改正法律
案ハ、昨年ノ議會ニ於テ可決セラレマンシタ昭
和十七年法律第二十三號、即チ陸海軍ノ工
業等ニ於テ年用告賀ノ法津デゴザイマス、

之ニ於テハ陸海軍ノ管理スル工場ニ於テ、
陸海軍ニ屬スル品物ヲ造ル場合ニハ、其ノ

工場ニ材料等ヲ渡スコトが出来ルト云ノ特例デアリマス之ヲ此ノ度更ニ擴張スル必要ガ起リマシテ、陸軍用又ハ海軍用以外ノ船舶

上ニ公債ニ非ザル金ニ於テモ、世間ニ出ルモノガ非常ニ多クナツテ來タ、ドウシテモ物價ノ騰貴スル勢ト云フモノハ已ムヲ得ナイモノデハナイカ、之ニ對シテ政府ハ如何ナル處置ラ執ラレルカト云フ御問ニ對シマシテ、政府ハ、低物價政策ノ維持ト云フコトニ付テハ、前々カラ申上ゲタ通リデ、政府ハ全力ヲ盡シテ之ヲ維持シテ行キ、之ニ依ッテ物價問題ノ萬全ヲ期サウト思ッテ居ル、之ニ付テハ全力ヲ盡ス考デアル、飽ク迄モ低物價政策ハ維持スル積リデアル、ト云フ御答デゴザイマシタ、ソレカラ次ニ整備サル、工場其ノ他ニ於テ、現物出資ヲシテ株券ヲ取得スルト云フヤウナモノモアリ、ソレガ爲ニ買取會社ハ増資シケレバナラヌト云フヤウナコトモアルガ、是等ニ付テハ大藏當局ハ贊成スルカ、若クハ反対スルカ、ト云フヤウナ御問ニ對シマシテ、大藏省ニ於テハ、斯クノ如キ問題ハ、政府ノ現金ヲ成ルベク民間ニ出サナイト云フ方針ニ合致スルモノトシテ、決シテソレヲ阻得スル考ハナイト云フ御答デゴザイマシタ、其ノ他尙色々ノ問題ニ付テ御質問ハゴザイマシタガ、是等ハ總テ速記錄ニ譲リマシテ、速記錄ニ付テ御覽ヲ願ヒタイト思ヒマス、斯クノ如クシテ討議ニ入り、一委員ヨリシテ、兩案共政府原案ニ同意スルト云フ御發言ガアリ、次イデ採決ニ移リマシテ、兩案共委員會ハ満場一致ヲ以チマシテ政府原案ヲ可決スル決議ヲ致シマシタ、右御報告申上ゲマス

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 御異議ナシ
ト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ兩案ノ第一讀會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

○子爵植村家治君 賛成

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 西大路子爵
ノ動議ニ御異議ゴザイマセヌカ

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 御異議ナシ
ト認メマス

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 御異議ナシ
ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 御異議ナシ
ト認メマス

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 兩案ノ第二
讀會ヲ開キマス、御異議ガナケレバ、全部
ヲ問題ニ供シマス、兩案全部、委員長ノ報
告通リデ御異議ゴザイマセヌカ

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 御異議ナシ
ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 御異議ナシ
ト認メマス

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 兩案ノ第三
讀會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

○子爵植村家治君 賛成

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 西大路子爵
ノ動議ニ御異議ゴザイマセヌカ

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 御異議ナシ
ト認メマス

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 御異議ナシ
ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 兩案ノ第三
讀會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 御異議ナシ
ト認メマス

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 兩案ノ第三
讀會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 御異議ナシ
ト認メマス

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 御異議ナシ
ト認メマス

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 報告ヲ致サ
セマス

本日委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

朝鮮食糧管理特別會計法案可決報告書
朝鮮ニ於ケル米穀ノ生産ヲ確保スル爲ノ
補給金及企業ノ整備ニ要スル經費ノ財源
ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案可決
報告書

臺灣ニ於ケル米穀ノ生産ヲ確保スル爲ノ
補給金ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ
關スル法律案可決報告書

臺灣ニ於ケル米穀ノ生産ヲ確保スル爲
ノ補給金ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ
關スル法律案可決報告書

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及
報告候也

昭和十八年六月十八日 委員長 伯爵兒玉 秀雄

貴族院議長伯爵松平頼壽殿

臺灣ニ於ケル米穀ノ生産ヲ確保スル爲
ノ補給金ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ
關スル法律案可決報告書

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及
報告候也

昭和十八年六月十八日 委員長 伯爵兒玉 秀雄

貴族院議長伯爵松平頼壽殿

臺灣ニ於ケル米穀ノ生産ヲ確保スル爲
ノ補給金ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ
關スル法律案可決報告書

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及
報告候也

致シマシテ、中央機關ヲ營團組織ニ改メ、
各道ノ會社ヲ其ノ下部組織ニ編成替ヘラセ
ムトスルノデアリマス、此ノ内外地食糧統
制ノ實施ニ伴ヒマシテ、米穀等ヲ確保シ、
並ニ企業整備ニ關シ獎勵金及補給金ヲ支出
シ、並ニ新設ノ營團ノ出資ニ充ツル爲ニ公
債發行又ハ借入金ヲ爲スノ途ヲ閉キ、且之
ガ運營ニ必要ナル特別會計ヲ設置セムトス
ルモノデアリマス、委員會ハ、質疑ニ入り
マシテ、本案ハ何レモ朝鮮、臺灣ニ於キマ
スル食糧統制ノ強化ニ關スル問題デアリマ
スルノデ、勢ヒ朝鮮、臺灣及内地ニ於キマ
スル食糧事情並ニ滿洲ニ於キマスル食糧政
策ニ關スル重要ナル點ニ觸レテ質疑應答ガ
行ハレタノデアリマス、殊ニ國內ノ生產ニ
關シマシテハ、供出米ノ時期、方法、耕
作物ノ種類轉換、殊ニ應急對策ノミナラ
ズ、速カニ恆久對策ヲ樹立スルノ必要ニ
付テ熱心ニ論議セラレタノデアリマス、
委員會ハ、或ハ速記ヲ止メ政府ヨリソレ
ゾレ適切ナル答辯ヲ得タノデアリマス、
尙本法案ニ直接關係アリマスル事項ト致
シマシテハ、朝鮮ニ於キマスル產業物資
營團、食糧團新設ノ理由及方法並ニ食糧證
券ノ取扱方法ニ關シ、又臺灣ニ付キマシテ
ハ、現存ノ食糧統制ニ關シマスル機構改正
ノ必要、砂糖耕作ノ主要農作物ヘノ轉換等
ノ質問ガアリマシタ、最後ニ多額ノ補給金
ノ獎勵金ヲ撒布スル爲ニ勢ヒ「インフレ」ヲ
起ス虞ガアルガ、之ガ對策ニ關スル質問
ガアリマシテ、政府ハ、必要ナル限度ニ於
キマシテ農民ノ貯蓄ヲ獎勵シテ之ガ防止ニ
努ムルトノ答辯ガアッタノデアリマス、斯
クテ質疑ヲ終リマシテ、討論ニ入りマシ
タ、一委員ヨリ、朝鮮ニ於キマスル特別會計ノ

動購買力化シマスコトヲ抑制スルコトノ措置、第二ハ封鎖資金ノ資金化ヲ圖ル措置デアリマス、第三ハ廢止會社等ニ關スル特別ノ措置、第四ハ企業整備ニ關スル租稅ノ減免措置デアリマス、第五ハ企業整備ニ關スル財政上の措置デゴザイマス、第一ノ資金ノ浮動購買力化ノ抑制ニ付キマシテハ、特殊預金、特殊金錢信託、債務者ノ特殊借入金、戰時金融金庫特殊借入金及び政府特殊借入金、此ノ五ツノ特殊決済方法ヲ設ケマジテ、必要ニ應ジ金融機關又ハ政府ヨリ資本ヲ融通セシムルコトト致シ、資金ノ調達ニ便ナラシメタノデアリマス、第二ハ、以上ノ特殊決済方法ニ依リマシテ成立シマシタ債權ノ資金化デアリマスガ、是等ノ債權ヲ、一般的ニ譲渡又ハ擔保ニ供スルコトハ認メラレナインデアリマス、併シ退職給與、納稅、債務ノ辨済、時局緊要產業ヘノ投資等、特ニ現金ノ必要ナ場合ニハ、或ハ金融機關ヲ通ズルコトニ依リ、或ハ直接期限前ノ償還等ニ依リマシテ、迅速確實ナル資金化ノ方法ヲ講ジテ居ルノデアリマス、第三ノ休廢止會社等ニ對スル特別ノ措置トシマシテハ、資產ノ分散ヲ防ギ、浮動購買力ノ發生ヲ事前ニ抑止致シマス其ノ爲ニ會社ヲ解散ナセルコトナクシテ、從來ノ配當率其ノ他ノ急激ナル變動ヲ防グコトト致シマシタ外、必要ニ應ジテ政府ヨリ増資命令ヲ出シ、或ハ既存債權債務ニ關スル指示ヲ付キ特殊ノ措置ヲ執リマシテ、從來ノ配當率其ノ他ノ急激ナル變動ヲ防グコトト致シマシタ外、必要ニ應ジテ政府ヨリ増資命令ヲ出シ、或ハ既存債權債務ニ關スル指示ヲ付キ特殊ノ措置ヲ執リマシテ、第四ハ租稅ノ减免ニ關スル事項デゴザイマシテ、其ノ要點ハ、先づ政府ノ特殊借入金ノ利子ニ關シマシテハ、分類所得稅ヲ輕減スルノデアリマス、所得稅法及法人稅法ニ依ル所謂所得ノ計算ニ關

シマシテハ、特例ヲ設ケルコトト致シマシタ、其ノ二ハ、休廢止會社ニ對シ事情ニ依リ法人稅、營業稅等ヲ輕減シ得ルコトト致スルモノデゴザイマスガ、國家的要請ニ關スルモノデゴザイマスガ、國家的要請ニ關スル財政上の措置デゴザイマス、第一ノ資金ノ浮動購買力化ノ抑制ニ付キマシテハ、特殊預金、特殊金錢信託、債務者ノ特殊借入金、戰時金融金庫特殊借入金及び政府特殊借入金、此ノ五ツノ特殊決済方法ヲ設ケマジテ、必要ニ應ジ金融機關又ハ政府ヨリ資本ヲ融通セシムルコトト致シ、資金ノ調達ニ便ナラシメタノデアリマス、第二ハ、以上ノ特殊決済方法ニ依リマシテ成立シマシタ債權ノ資金化デアリマスガ、是等ノ債權ヲ、一般的ニ譲渡又ハ擔保ニ供スルコトハ認メラレナインデアリマス、併シ退職給與、納稅、債務ノ辨済、時局緊要產業ヘノ投資等、特ニ現金ノ必要ナ場合ニハ、或ハ金融機關ヲ通ズルコトニ依リ、或ハ直接期限前ノ償還等ニ依リマシテ、迅速確實ナル資金化ノ方法ヲ講ジテ居ルノデアリマス、第三ノ休廢止會社等ニ對スル特別ノ措置トシマシテハ、資產ノ分散ヲ防ギ、浮動購買力ノ發生ヲ事前ニ抑止致シマス其ノ爲ニ會社ヲ解散ナセルコトナクシテ、從來ノ配當率其ノ他ノ急激ナル變動ヲ防グコトト致シマシタ外、必要ニ應ジテ政府ヨリ増資命令ヲ出シ、或ハ既存債權債務ニ關スル指示ヲ付キ特殊ノ措置ヲ執リマシテ、第四ハ租稅ノ减免ニ關スル事項デゴザイマシテ、其ノ要點ハ、先づ政府ノ特殊借入金ノ利子ニ關シマシテハ、分類所得稅ヲ輕減スルノデアリマス、所得稅法及法人稅法ニ依ル所謂所得ノ計算ニ關

シマシテハ、特例ヲ設ケルコトト致シマシタ、其ノ二ハ、休廢止會社ニ對シ事情ニ依リ法人稅、營業稅等ヲ輕減シ得ルコトト致スルモノデゴザイマスガ、國家的要請ニ關スルモノデゴザイマスガ、國家的要請ニ關スル財政上の措置デゴザイマス、第一ノ資金ノ浮動購買力化ノ抑制ニ付キマシテハ、特殊預金、特殊金錢信託、債務者ノ特殊借入金、戰時金融金庫特殊借入金及び政府特殊借入金、此ノ五ツノ特殊決済方法ヲ設ケマジテ、必要ニ應ジ金融機關又ハ政府ヨリ資本ヲ融通セシムルコトト致シ、資金ノ調達ニ便ナラシメタノデアリマス、第二ハ、以上ノ特殊決済方法ニ依リマシテ成立シマシタ債權ノ資金化デアリマスガ、是等ノ債權ヲ、一般的ニ譲渡又ハ擔保ニ供スルコトハ認メラレナインデアリマス、併シ退職給與、納稅、債務ノ辨済、時局緊要產業ヘノ投資等、特ニ現金ノ必要ナ場合ニハ、或ハ金融機關ヲ通ズルコトニ依リ、或ハ直接期限前ノ償還等ニ依リマシテ、迅速確實ナル資金化ノ方法ヲ講ジテ居ルノデアリマス、第三ノ休廢止會社等ニ對スル特別ノ措置トシマシテハ、資產ノ分散ヲ防ギ、浮動購買力ノ發生ヲ事前ニ抑止致シマス其ノ爲ニ會社ヲ解散ナセルコトナクシテ、從來ノ配當率其ノ他ノ急激ナル變動ヲ防グコトト致シマシタ外、必要ニ應ジテ政府ヨリ増資命令ヲ出シ、或ハ既存債權債務ニ關スル指示ヲ付キ特殊ノ措置ヲ執リマシテ、第四ハ租稅ノ减免ニ關スル事項デゴザイマシテ、其ノ要點ハ、先づ政府ノ特殊借入金ノ利子ニ關シマシテハ、分類所得稅ヲ輕減スルノデアリマス、所得稅法及法人稅法ニ依ル所謂所得ノ計算ニ關

シマシテハ、特例ヲ設ケルコトト致シマシタ、其ノ二ハ、休廢止會社ニ對シ事情ニ依リ法人稅、營業稅等ヲ輕減シ得ルコトト致スルモノデゴザイマスガ、國家的要請ニ關スルモノデゴザイマスガ、國家的要請ニ關スル財政上の措置デゴザイマス、第一ノ資金ノ浮動購買力化ノ抑制ニ付キマシテハ、特殊預金、特殊金錢信託、債務者ノ特殊借入金、戰時金融金庫特殊借入金及び政府特殊借入金、此ノ五ツノ特殊決済方法ヲ設ケマジテ、必要ニ應ジ金融機關又ハ政府ヨリ資本ヲ融通セシムルコトト致シ、資金ノ調達ニ便ナラシメタノデアリマス、第二ハ、以上ノ特殊決済方法ニ依リマシテ成立シマシタ債權ノ資金化デアリマスガ、是等ノ債權ヲ、一般的ニ譲渡又ハ擔保ニ供スルコトハ認メラレナインデアリマス、併シ退職給與、納稅、債務ノ辨済、時局緊要產業ヘノ投資等、特ニ現金ノ必要ナ場合ニハ、或ハ金融機關ヲ通ズルコトニ依リ、或ハ直接期限前ノ償還等ニ依リマシテ、迅速確實ナル資金化ノ方法ヲ講ジテ居ルノデアリマス、第三ノ休廢止會社等ニ對スル特別ノ措置トシマシテハ、資產ノ分散ヲ防ギ、浮動購買力ノ發生ヲ事前ニ抑止致シマス其ノ爲ニ會社ヲ解散ナセルコトナクシテ、從來ノ配當率其ノ他ノ急激ナル變動ヲ防グコトト致シマシタ外、必要ニ應ジテ政府ヨリ増資命令ヲ出シ、或ハ既存債權債務ニ關スル指示ヲ付キ特殊ノ措置ヲ執リマシテ、第四ハ租稅ノ减免ニ關スル事項デゴザイマシテ、其ノ要點ハ、先づ政府ノ特殊借入金ノ利子ニ關シマシテハ、分類所得稅ヲ輕減スルノデアリマス、所得稅法及法人稅法ニ依ル所謂所得ノ計算ニ關

マス、最後ニ廢棄サレマス工場、廢棄工場
ハ、只今申上ダマシタ何レノ工場ニモ屬シ
ナイ工場デゴザイマス、其ノ設備等ハ屏鐵
化シマシテ、鐵銅增産ニ向ケラレルノデゴ
ザイマス、第二種工業ト申シマスモノハ、
航空機ノ製作ヲヤツテ居リマス工場デアリ
マストカ、造船所デアリマストカ、今後益々
擴充ヲ必要トル部門デゴザイマス、此ノ
工場ハ、現在ノ生産ヲ以テシテモ尙擴充シナ
ケレバナラナイ、増産ヲシナケレバナラナ
イト云フ工場デゴザイマスカラ、廢棄トカ、
保有トカ、サウ云フ消極的ノコトハゴザイ
マセヌ、總テドンノ生産ヲ繼續スルノデ
ゴザイマスガ、ソレニハ親工場ト子工場、
親工場下請工場トノ關係ヲ調整シマシテ、
出來ルダケ製品ノ專門化ヲ圖リマシテ、其
ノ生産性ヲ昂揚スル目的ニ供スルノデゴザ
イマス、併シ此ノ部門ニ於テモ、工場ニ依
リマシテハ、尙遊休設備デアリマストカ、不良
機械ト云フヤウナモノガアル譯デアリマス、
重要產業ニ從事シテ居ル工場ガ、必ズシモ
設備ガ最新式ノモノデアリ、最モ良イモノ
バカリガ使ハレテ居ルノデハゴザイマセヌ
カラ、サウ云フモノハ矢張リ、整備致シマシ
テ、金屬回収等モ相當ニ強ク行ハレルノデ
ゴザイマス、第三種工業部門ハ、第一種、
第二種、以外ノ工業部門ニ屬スル總テノ工
業部門デゴザイマス、是ガ整備ハ從來通り
指導獎勵ニ依リマシテ實施サレルノデアリ
マスガ、金屬回収ハ今日最モ必要デゴザイ
マスカラ、此ノ第三種工業ニ付キマシテハ、
法令ノ發動ニ依リマシテ金屬回収ガ行ハレ
ルコトモ考慮サレテ居ルト云フコトデゴザ
イマス、以上大體大臣竝ニ商工大臣ノ御說
明ヲ終リマシテ、直チニ質疑ニ入ツタノデ
ゴザイマス、甚ダ殘念デゴザイマスガ時間
ノ關係モゴザイマスカラ、此ノ際質疑應答

ハ極ク省略ヲ致シマシテ、且問題ヲ一括シ
マシテ簡単ニ御説明ヲ申上ゲタイト思ヒマ
ス、先ヅ此ノ企業整備ハ、金額ニ致シマス
ト約三十五億圓ノ金ガ移動スルノデゴザ
イマンシテ、ソレニ伴ヒマシテ多數ノ労務者
ノ移動モ行ハレルノデアリマスカラ、誠
ニ空前ノ大事業デゴザイマス、故ニ國民ニ
先ヅ第一ニ熱心ナ協力心ガナケレバ、此ノ
大事業ハ遂行出来ナイノデアル、從ツテ遺憾
ナキヲ期ス爲ニハ、民間人ノ動員モシテ、
各委員會等モ十分ノ考慮ヲ拂ヒ、慎重ニ此
ノ大事業ガ行ハレルヤウニ考慮シテ貴ヒタ
イ、ト云フコトニ付キマシテ、勿論商工大
臣カラ同感ノ旨ノ御答辯ガアリマシタ、又
此ノ大事業ヲ遂行スル爲ニハ、特ニ戰時產
業省ノヤウナモノヲ作ルガ宜イデハナイカ
ト云フ御意見モゴザイマシタガ、ソレハ今
日急ニサウ云フコトヲヤリマスト、生産ヲ
一時阻碍スル、減退スル虞等ガゴザイマス
爲ニ、今日ノ機構、即チ企畫院等ヲ強力ニ
發動シマシテ、能ク各省トノ連絡ヲ圖ルト
云フコトガ第一ニ必要デアリ、各省間ノ連
絡ヲ、企畫院ガ間ニ入シテ能ク其ノ打合セ
ヲヤルナラバ、此ノ企業整備ノ大事業モ遺
憾ナク行ハレルデアラウト云フコトデゴザ
イマシタ、次ハ資金ヲ封鎖スルト云フ問題
デゴザイマス、今度ノ企業整備ニ伴ヒマシ
テ、工場ガ買收サレ、設備ガ買收サレルト
云フヤウナコトガゴザイマス場合ニ、其ノ
資金ヲ何トカシテ封鎖シマセヌナラバ、是
ガ直チニ浮動ナ購買力ヲ發生スルコトニナ
リマス、此ノ封鎖ノ手段トシテ有價證券ヲ
以テ買上資金トシテ交付スルト云フコトモ
考ヘラレル、先程御説明モゴザイマシタ通
賣サレル、賣ラレルト云フ虞ガアルノデアリ

マス、之ヲ禁止スルコトハ、有價證券ノモノノ特質ヲ失フコトニナリマスカラ、飽ク迄避ケタイ、從ツテソレニハ會社ヲ解散サセルト云フコトヲ先づ禁止スル、サウシテ會社ハ其ノ儘在續シテ、唯公債ヲ保有シテ居ル會社トシテ殘ルノデアリマスガ、一方此ノ資金ヲ、又一面ニ於テハ生産增强ニ有效ニ使ハセタイト云フヤウナコトカラシマシテ、場合ニ依リマシテハ、其ノ資金ヲ重要產業ノ生産ニ對シテ投資ヲスルト云フコトニ振替ヘルト云フコトモ考ヘラレテ居ルト云フコトデゴザイマス、但シ此ノ會社ノ解散ヲ禁止スルト云フ問題ニ付キマシテハ、商法カラ見マシテサウ云フコトハ困難デアル、此ノ企業整備令ニ規定サレテ居リマス規定ダケデハ不十分デアルト云フ御晉見モゴザイマシタガ、政府ハ、是デ以テ十分ニ其ノ目的ガ達セラレルト云フ御説明デゴザイマシタ、唯此ノ有效投資ト云フモノヲ適正ニサセルコトヲ考ヘナケレバナラナイ、即チ其ノ會社ニドウ云フ方面ニ投資サセルカト云フコトハ、慎重ニ考慮ヲシナケレバナラナイノデアッテ、全ク今迄關係ノナイ產業ニ投資ヲスルノデゴザイマスカラ、此ノ點ガ一番ムヅカシイ點デアッテ、大イニ考慮ヲシナケレバナラナイト云フコトデゴザイマス、次ハ勞務者ノ問題ニ關聯シマシテ、先づ廢業者、轉業者ノ待遇問題、是ハ此ノ勞務者ガ轉業シマシタ場合ニ、從來取テ居リマシテ勞銀ト同額ノ勞銀ヲ給與シマスナラバ、是ハ其ノ人ノ熟練ノ程度ニ相應ハシクナインノデアリマス、勿論之ニ關シマシテハ全ク反対ノ例モ私ハ承知致シテ居ルノデゴザ生ジタ場合ニハ、生産增强ガ出來ナイト云フノデアリマス、勿論之ニ關シマシテハ全熟練工トノ間ニ、若シ何等力此處ニ摩擦ガ生ジタ場合ニハ、生産增强ガ出來ナイト云フノデアリマス、勿論之ニ關シマシテハ全ク反対ノ例モ私ハ承知致シテ居ルノデゴザ

ヲ生ズルト云フコトハ避クベキコトデアリ
マシテ、出來レバ生活保障ニ對シテハ、是
ハ國家ガ負擔ヲシテ迄モ生活ニ困ラナイヤ
ウニシテヤラウト云フコトデゴザイマシ
タ、又勞務者ノ住宅問題ト云フモノガ非常
ナ大事ナ問題デゴザイマシテ、今日廢轉業
者ガ殘ラズ重要產業ノ方ニ廻リマスト、直
グニ住宅問題が起ラテ參リマス、是ハ出來
ルダケ廢轉業者ハ、其ノ地域ニ於テ廢轉業
者ヲ既存ノ工場ニ受入レサセル、從ツテ廢轉
業者ハ自宅カラ通フコトヲ成ルタケ原則
トシタイ、已ムヲ得ザル場合ニハ優先的ニ
木材、其ノ他ノ資材ヲ配給シマシテ、廢轉
業者ノ住宅問題ヲ解決シタイト云フコトデ
ゴザイマシタ、又今日ノ勞務者ガ場合ニ依
リマシテハ非常ニ働く過ギテ居ラテ、永ク
續カナイト云フ懸念ノアル工場モゴザイマ
スレバ、又或者ハ一日居リマシテモ幾ラモ仕
事ヲシナイ、何分ノ一ノ時間、即チ就業何分ノ
一ノ時間デモヤレル仕事ヲ一日掛チヤッテ
居ルト云フコトガアル、ソレハ結局仕事ノ割
合ニ勞務者ガ多過ギルノデアルト云フ現象モゴ
ザイマシテ、是等ヲ調節スル爲ニ、極力種々ノ手
段ヲ講ジテ居ルト云フコトデゴザイマス、而
シテ又廢轉業者ノドノ位ガ、重工業或ハ其
ノ他ノ重要產業ニ從事シテ居ルカト言ヒマ
スト、大體七割ハ從事シテ居ルト云フコト
デアリマシテ、アト一割内外ガ他ノ産業、
残リガ農村ニ歸ツテ、即チ歸農ヲシテ居ル
ト云フコトデゴザイマシタ、次ニ共助金ノ
リマスカ、補助ヲ出スノデアリマシテ、一
軒當リ六百圓ノ中、三百圓ヲ同業者カラ出
シマス、残リ三百圓ヲ政府ガ出シテ居ツタノ
デゴザイマスガ、今回ハ此ノ共助金ガ多數

